

## 下越だより

### 下越地区懇親会が開催されました

平成29年11月18日、新潟駅南の魚沼釜蔵において、白山会兼下越地区懇親会が開催されました。参加者は同年下越地区で総会が開催された関係があり16名と少なめでしたが、恒例の阿部事務局長のクラリネット演奏や初参加の方もおられ、和気あいあいとしたなかで進み、最後は校歌を斉唱し、次回の再会を約束しあい解散となりました。



### 第30回 安吾忌が開催されました

恒例の安吾忌を平成30年2月17日、極寒の中とり行われました。

今回は、坂口家墓所での墓参のみとなりましたが、校友会からは斎藤支部長、渡辺 仁さん、進藤幸生さん、大橋健一郎さん、阿部吉弘さんの5人の参加がありました。



▲手を合わせる斎藤支部長

### 念願の新潟県支部総会に参加して

S32年社会学部社会学科卒 金子俊二

母校東洋大学の創設者井上円了先生は、建学の精神を「諸学の基礎は哲学にあり」と表現された。私は、憧れの東洋大学で創設者の理念「人の人たる道と、知識、人間性」を学び巣立った。

平成4年に佐渡市に帰島以来、このたびやっと念願叶い、新潟県支部総会に出席、感慨一入であった。馬齢を重ねて満87歳、余命幾ばくもない。今日まで『校友会報』を通してだけで、どの友とも一度もお目にかかれず、同じ新潟県人として母校の飛躍的な発展と現況を親しく語り合いたかった。

平成29年度の総会は、8月19日(土)午前10時から新潟市の「アートホテル」で開催され、県内各地から45名が出席し親睦の輪を広げた。何分にも初めての出席で、年甲斐もなく開催日が迫ると緊張の連続で、佐渡汽船に乗っても胸がドキドキだった。不安な気持ちは、会場に着いたとたんに払拭された。県支部総会、それは同窓の集いではないか！会場に入

るな否や十年の知己にあったように気持ちが落ち着き、母校は本当にありがたくて嬉しいと思った。

懇親会では、司会者から丁寧な紹介を賜り輪に溶け込んだ。出席者から親しく「先輩、先輩」と声をかけられ、ビールをいただき最高の気分になった。そして、薦められるままに日本を代表する民謡「相川音頭」源義経公の弓流しの一節を唄い万雷の拍手を頂戴した。出席してよかったと、母校と新潟県支部のますますの発展と隆盛を祈った。

午後2時55分発の佐渡汽船ジェットに乗り、4時に両津港に帰着。人生最高の一日だった。



▲相川音頭を唄う金子氏(中央)